

Ⅲ きょうどを開く

1 用水路をつくる

★ 用水路というのは、川につつみをきずき、水をためてそこから水を引き、利用できるようにしたところです。むかしから多くの人が努力と工夫をかさね、今のようになってきました。

わたしたちの家の近くを流れる用水は、どこから引かれてきているかしらべてみましょう。



浜野せき～水のとりに入れ口～

(1) 白沢・古町共同堰^{せき}

やく100年前、古町に住む人たちは、水不足にこまっていた。そこで、明治24年（1891年）1月、古町の人々は、白沢の人々に、白沢地区の伊南川に堰^{せき}を作って古町に水を引けるようにしたいとも